

[二人以上世帯調査]

◆調査要綱	9	3. 住居の取得計画	21
標本設計とサンプル誤差	10	4. 老後の生活への心配	23
◆調査結果の概要	11	5. 年金に対する考え方	24
I. 金融資産の状況	11	IV. 日常の資金決済手段	25
1. 金融資産の保有状況	11	◆【BOX 1】平均値と中央値	26
2. 金融資産保有世帯の金融資産保有状況	12	◆【BOX 2】今回調査の標本属性	27
3. 金融資産構成の前年比較	13	◆調査結果〈調査票（単純集計データ）〉	28
4. 金融資産の増減・増減理由	14	◆統計表	
5. 金融資産の保有目的	16	（利用上の注意）	52
6. 金融資産の選択	16	各種分類別データ	54
II. 借入金の状況	18	設問間クロス集計	131
1. 借入金額の状況	18	時系列表	138
2. 借入の目的	19		
III. 家計のバランス、生活設計等	20		
1. 家計のバランス評価	20		
2. 生活設計	21		

◇統計表目次

（利用上の注意）	52
<各種分類別データ>	
1 預貯金口座または証券会社等の口座の有無、現在保有している金融商品	54
2 金融資産の有無、金融資産非保有世帯の預貯金口座または証券会社等の口座の有無および現在の預貯金残高	55
3 金融商品保有額（金融資産保有世帯）	56
4 金融商品保有額（金融資産を保有していない世帯を含む）	57
5 種類別金融商品保有額（金融資産保有世帯）	58
6 種類別金融商品保有額（金融資産を保有していない世帯を含む）	59
7 一般NISA（少額投資非課税制度）、ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）、つみたてNISA（非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度）、個人型確定拠出年金（iDeCo）、外貨建金融商品の保有額	60
8 年間手取り収入（臨時収入を含む）からの貯蓄割合（金融資産保有世帯）	61
9 臨時収入等からの貯蓄割合（金融資産保有世帯）	62
10 金融資産構成の前年比較（金融資産を保有していない世帯を含む）	63
11 金融商品の選択基準（金融資産保有世帯）	64
12 金融商品の選択基準（金融資産を保有していない世帯を含む）	65
13 元本割れの経験、元本割れの経験の受け止め方	66
14 金融資産残高の1年前との増減比較（金融資産保有世帯）	67
15 金融資産残高の1年前との増減比較（金融資産を保有していない世帯を含む）	68
16 金融資産残高が増加した理由（金融資産保有世帯のうち金融資産残高が増えた世帯）	69
17 金融資産残高が減少した理由（金融資産保有世帯のうち金融資産残高が減った世帯）	70
18 金融資産の保有目的（金融資産保有世帯）	71

目 次

19	金融資産の保有目的（金融資産を保有していない世帯を含む）	72
20	遺産についての考え方	73
21	金融資産目標残高	74
22	今後の金融商品の保有希望	75
23	元本割れを起こす可能性があるが、収益性の高いと見込まれる金融商品の保有	76
24	日常的な支払い（買い物代金等）の主な資金決済手段	77
25	日常的な支払い（買い物代金等）の主な資金決済手段（続き）	78
26	定期的な支払い（公共料金等）の主な資金決済手段	79
27	平均手持ち現金残高	80
28	借入金の有無	81
29	借入金残高（借入金がある世帯）	82
30	借入金残高（借入金有無回答世帯）	83
31	住宅ローン残高（借入金額回答世帯）	84
32	新規借入額（借入金有無回答世帯）	85
33	年間返済額（借入金有無回答世帯）	86
34	借入の目的	87
35	家計全体のバランス評価、家計運営の評価	88
36	生活設計策定の有無	89
37	生活設計の策定期間、資金運用計画策定の有無	90
38	住居の状況	91
39	自家取得予定	92
40	住宅取得必要資金	93
41	この1年以内の土地・住宅の取得、増改築、売却の有無	94
42	この1年以内の土地・住宅取得、増改築資金、売却金額	95
43	老後のひと月当たり最低生活費・年金支給時に最低準備しておく金融資産残高	96
44	老後の生活についての考え方	97
45	老後の生活についての考え方（世帯主の年令が60歳未満の世帯）	98
46	老後の生活を心配していない理由	99
47	老後の生活を心配する理由	100
48	老後における生活資金源	101
49	老後における生活資金源（世帯主の年令が60歳以上の世帯）	102
50	年金に対する考え方	103
51	年金ではゆとりがないと考える理由（ゆとりがない世帯）	104
52	子どものこづかい額	105
53	仕送りの支払い、受取り	106
54	預金保険制度の認知度	107
55	金融資産をより安全にするためにとった行動	108
56	金融機関の選択理由	109
57	経済的な豊かさ・心の豊かさの実感	110
58	経済的な豊かさを実感する条件	111
59	経済的な豊かさを実感する条件（経済的な豊かさを実感している世帯）	112

目 次

60 経済的な豊かさを実感する条件（経済的な豊かさを実感していない世帯）	113
61 心の豊かさを実感する条件	114
62 心の豊かさを実感する条件（心の豊かさを実感している世帯）	115
63 心の豊かさを実感する条件（心の豊かさを実感していない世帯）	116
64 金融に関する知識・情報の入手先	117
65 金融に関する知識・情報の提供主体として望ましく思う先	118
66 金融広報中央委員会の認知度	119
67 世帯人数	120
68 世帯主の年令	121
69 世帯主の性別、長期不在の有無	122
70 世帯主の学歴	123
71 世帯主の就業・就学の有無	124
72 世帯主の就業先産業	125
73 配偶者の学歴	126
74 配偶者の就業・就学の有無	127
75 世帯の就業者数	128
76 世帯の回答者	129
77 年間手取り収入（税引後）	130

<設問間クロス集計>

1 金融商品保有額（年令・年収別）	131
2 借入金残高（年令・年収別）	132
3 金融商品保有額（世帯の就業者数・年収別）	133
4 借入金残高（世帯の就業者数・年収別）	134
5 老後の生活についての考え方（金融商品保有額別）	135
6 今後の金融商品の保有希望（金融商品保有額別）	135
7 金融資産の保有目的（金融商品保有額別）	136
8 借入の目的（借入金残高別）	136
9 生活設計策定の有無、家計全体のバランス評価、家計運営の評価（金融商品保有額、借入金残高、年収など別）	137

<時系列表>

1 預貯金口座または証券会社等の口座の有無	138
2 金融資産の有無、金融資産非保有世帯の預貯金口座または証券会社等の口座の有無、預貯金残高	139
3 金融資産（金融商品）保有額（金融資産保有世帯）	140
4 金融資産（金融商品）保有額（金融資産を保有していない世帯を含む）	141
5 種類別金融商品保有額（金融資産保有世帯）	141
6 種類別金融商品保有額（金融資産を保有していない世帯を含む）	142

目 次

7 一般NISA（少額投資非課税制度）、ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）、つみたてNISA（非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度）、個人型確定拠出年金（iDeCo）、外貨建金融商品の保有額	142
8 年間手取り収入（臨時収入を含む）からの貯蓄割合（金融資産保有世帯）	143
9 臨時収入等からの貯蓄割合（金融資産保有世帯）	144
10 金融資産構成の前年比較（金融資産を保有していない世帯を含む）	145
11 金融商品の選択基準（金融資産保有世帯）	145
12 金融商品の選択基準（金融資産を保有していない世帯を含む）	146
13 元本割れの経験、元本割れの経験の受け止め方（元本割れの経験がある世帯）	146
14 金融資産残高の1年前との増減比較（金融資産保有世帯）	147
15 金融資産残高の1年前との増減比較（金融資産を保有していない世帯を含む）	147
16 金融資産残高が増加した理由（金融資産保有世帯のうち金融資産残高が増えた世帯）	148
17 金融資産残高が減少した理由（金融資産保有世帯のうち金融資産残高が減った世帯）	148
18 金融資産の保有目的（金融資産保有世帯）	149
19 金融資産の保有目的（金融資産を保有していない世帯を含む）	150
20 遺産についての考え方	150
21 金融資産目標残高	151
22 今後の金融商品の保有希望	152
23 元本割れを起こす可能性があるが、収益性の高いと見込まれる金融商品の保有	152
24 日常的な支払い（買い物代金等）の主な資金決済手段	153
25 日常的な支払い（買い物代金等）の主な資金決済手段（続き）	153
26 定期的な支払い（公共料金等）の主な資金決済手段	154
27 平均手持ち現金残高（金額回答世帯）	155
28 借入金の有無	156
29 借入金残高（借入金がある世帯）	157
30 借入金残高（借入金有無回答世帯）	158
31 住宅ローン残高（借入金額回答世帯）	158
32 新規借入額（借入金有無回答世帯）	159
33 年間返済額（借入金有無回答世帯）	159
34 借入の目的（借入金がある世帯）	160
35 家計全体のバランス評価、家計運営の評価	161
36 生活設計策定の有無	161
37 生活設計の策定期間、資金運用計画策定の有無（生活設計を立てている世帯）	162
38 住居の状況	163
39 自家取得予定（非持家世帯）	163
40 住宅取得必要資金（金額回答世帯）	164
41 この1年以内の土地・住宅の取得、増改築、売却の有無	165
42 この1年以内の土地・住宅取得、増改築資金、売却金額（金額回答世帯）	165
43 老後のひと月当たり最低生活費・年金支給時に最低準備しておく金融資産残高（金額回答世帯）	165
44 老後の生活についての考え方	166
45 老後の生活を心配していない理由（老後を心配していない世帯）	167

46 老後の生活を心配する理由（老後を心配している世帯）	168
47 老後における生活資金源	169
48 老後における生活資金源（世帯主の年令が60歳以上の世帯）	169
49 年金に対する考え方	170
50 年金ではゆとりがないと考える理由（ゆとりがない世帯）	170
51 こどものこづかい額（金額回答世帯）	171
52 仕送りの支払い、受取り（金額回答世帯）	172
53 預金保険制度の認知度	172
54 金融資産をより安全にするためにとった行動	173
55 金融機関の選択理由	174
56 経済的な豊かさ・心の豊かさの実感	175
57 経済的な豊かさを実感する条件	175
58 経済的な豊かさを実感する条件（経済的な豊かさを実感している世帯）	176
59 経済的な豊かさを実感する条件（経済的な豊かさを実感していない世帯）	176
60 心の豊かさを実感する条件	177
61 心の豊かさを実感する条件（心の豊かさを実感している世帯）	177
62 心の豊かさを実感する条件（心の豊かさを実感していない世帯）	177
63 金融に関する知識・情報の入手先	178
64 金融に関する知識・情報の提供主体として望ましく思う先	178
65 金融広報中央委員会の認知度	178
66 世帯人数	179
67 世帯主の年令	180
68 世帯主の性別、長期不在の有無	181
69 世帯主の学歴	181
70 世帯主の就業・就学の有無	182
71 世帯主の就業先産業（就業者）	182
72 配偶者の学歴（配偶者あり）	183
73 配偶者の就業・就学の有無（配偶者あり）	183
74 世帯の就業者数	183
75 年間手取り収入（税引後）	184

[単身世帯調査]

◆調査要綱	192	3. 住居の取得計画	204
◆調査結果の概要	194	4. 老後の生活への心配	206
I. 金融資産の状況	194	5. 年金に対する考え方	207
1. 金融資産の保有状況	194	IV. 日常の資金決済手段	208
2. 金融資産保有世帯の金融資産保有状況	195	◆【BOX 1】今回調査の標本属性	209
3. 金融資産構成の前年比較	196	◆【BOX 2】平均値と中央値	209
4. 金融資産の増減・増減理由	197	◆調査結果〈調査票（単純集計データ）〉	210
5. 金融資産の保有目的	199	◆統計表	
6. 金融資産の選択	199	（利用上の注意）	232
II. 借入金の状況	201	各種分類別データ	233
1. 借入金額の状況	201	設問間クロス集計	304
2. 借入の目的	202	時系列表	311
III. 家計のバランス、生活設計等	203		
1. 家計のバランス評価	203		
2. 生活設計	204		

◇統計表目次

(利用上の注意)	232
<各種分類別データ>	
1 預貯金口座または証券会社等の口座の有無、現在保有している金融商品	233
2 金融資産の有無、金融資産非保有世帯の預貯金口座または証券会社等の口座の有無および現在の預貯金残高	234
3 金融資産保有額（金融資産保有世帯）	235
4 金融資産保有額（金融資産を保有していない世帯を含む）	236
5 種類別金融商品保有額（金融資産保有世帯）	237
6 種類別金融商品保有額（金融資産を保有していない世帯を含む）	238
7 NISA（少額投資非課税制度）、個人型確定拠出年金（iDeCo）、外貨建金融商品の保有額	239
8 年間手取り収入（臨時収入を含む）からの貯蓄割合（金融資産保有世帯）	240
9 臨時収入等からの貯蓄割合（金融資産保有世帯）	241
10 金融資産構成の前年比較（金融資産を保有していない世帯を含む）	242
11 金融商品の選択基準（金融資産保有世帯）	243
12 金融商品の選択基準（金融資産を保有していない世帯を含む）	244
13 元本割れの経験、元本割れの経験の受け止め方	245
14 金融資産残高の1年前との増減比較（金融資産保有世帯）	246
15 金融資産残高の1年前との増減比較（金融資産を保有していない世帯を含む）	247
16 金融資産残高が増加した理由（金融資産保有世帯のうち金融資産残高が増えた世帯）	248
17 金融資産残高が減少した理由（金融資産保有世帯のうち金融資産残高が減った世帯）	249
18 金融資産の保有目的（金融資産保有世帯）	250
19 金融資産の保有目的（金融資産を保有していない世帯を含む）	251

目 次

20 遺産についての考え方	252
21 金融資産目標残高	253
22 今後の金融商品の保有希望	254
23 元本割れを起こす可能性があるが、収益性の高いと見込まれる金融商品の保有	255
24 日常的な支払い（買い物代金等）の主な資金決済手段	256
25 日常的な支払い（買い物代金等）の主な資金決済手段（続き）	257
26 定期的な支払い（公共料金等）の主な資金決済手段	258
27 平均手持ち現金残高	259
28 借入金の有無	260
29 借入金残高（借入金がある世帯）	261
30 借入金残高	262
31 住宅ローン残高（借入金額回答世帯）	263
32 新規借入額	264
33 年間返済額	265
34 借入の目的	266
35 家計全体のバランス評価、家計運営の評価	267
36 生活設計策定の有無	268
37 生活設計の策定期間、資金運用計画策定の有無	269
38 住居の状況	270
39 自家取得予定	271
40 住宅取得必要資金	272
41 この1年以内の土地・住宅の取得、増改築、売却の有無	273
42 この1年以内の土地・住宅取得、増改築資金、売却金額	274
43 老後のひと月当たり最低生活費・年金支給時に最低準備しておく金融資産残高	275
44 老後の生活についての考え方	276
45 老後の生活についての考え方（世帯主の年令が60歳未満の世帯）	277
46 老後の生活を心配していない理由	278
47 老後の生活を心配する理由	279
48 老後における生活資金源	280
49 老後における生活資金源（世帯主の年令が60歳以上の世帯）	281
50 年金に対する考え方	282
51 年金ではゆとりがないと考える理由（ゆとりがない世帯）	283
52 仕送りの支払い、受取り	284
53 預金保険制度の認知度	285
54 金融資産をより安全にするためにとった行動	286
55 金融機関の選択理由	287
56 経済的な豊かさ・心の豊かさの実感	288
57 経済的な豊かさを実感する条件	289
58 経済的な豊かさを実感する条件（経済的な豊かさを実感している世帯）	290
59 経済的な豊かさを実感する条件（経済的な豊かさを実感していない世帯）	291

目 次

60 心の豊かさを実感する条件	292
61 心の豊かさを実感する条件（心の豊かさを実感している世帯）	293
62 心の豊かさを実感する条件（心の豊かさを実感していない世帯）	294
63 金融に関する知識・情報の入手先	295
64 金融に関する知識・情報の提供主体として望ましく思う先	296
65 金融広報中央委員会の認知度	297
66 世帯主の年令	298
67 世帯主の性別	299
68 世帯主の学歴	300
69 世帯主の就業・就学の有無	301
70 世帯主の就業先産業	302
71 年間手取り収入（税引後）	303

<設問間クロス集計>

1 金融資産保有額（年令・年収別）	304
2 借入金残高（年令・年収別）	305
3 老後の生活についての考え方（金融資産保有額別）	306
4 今後の金融商品の保有希望（金融資産保有額別）	307
5 金融資産の保有目的（金融資産保有額別）	308
6 借入の目的（借入金残高別）	309
7 生活設計策定の有無、家計全体のバランス評価、家計運営の評価（金融資産保有額、借入金残高、年収など別）	310

<時系列表>

1 預貯金口座または証券会社等の口座の有無	311
2 金融資産の有無、金融資産非保有世帯の預貯金口座または証券会社等の口座の有無、預貯金残高	312
3 金融資産保有額（金融資産保有世帯）	313
4 金融資産保有額（金融資産を保有していない世帯を含む）	313
5 種類別金融商品保有額（金融資産保有世帯）	314
6 種類別金融商品保有額（金融資産を保有していない世帯を含む）	314
7 N I S A（少額投資非課税制度）、個人型確定拠出年金（iDeCo）、外貨建金融商品の保有額	315
8 年間手取り収入（臨時収入を含む）からの貯蓄割合（金融資産保有世帯）	316
9 臨時収入等からの貯蓄割合（金融資産保有世帯）	316
10 金融資産構成の前年比較（金融資産を保有していない世帯を含む）	316
11 金融商品の選択基準（金融資産保有世帯）	317
12 金融商品の選択基準（金融資産を保有していない世帯を含む）	317
13 元本割れの経験、元本割れの経験の受け止め方（元本割れの経験がある世帯）	318
14 金融資産残高の1年前との増減比較（金融資産保有世帯）	318
15 金融資産残高の1年前との増減比較（金融資産を保有していない世帯を含む）	318

目 次

16	金融資産残高が増加した理由（金融資産保有世帯のうち金融資産残高が増えた世帯）	319
17	金融資産残高が減少した理由（金融資産保有世帯のうち金融資産残高が減った世帯）	319
18	金融資産の保有目的（金融資産保有世帯）	320
19	金融資産の保有目的（金融資産を保有していない世帯を含む）	320
20	遺産についての考え方	321
21	金融資産目標残高	321
22	今後の金融商品の保有希望	322
23	元本割れを起こす可能性があるが、収益性の高いと見込まれる金融商品の保有	322
24	日常的な支払い（買い物代金等）の主な資金決済手段	323
25	日常的な支払い（買い物代金等）の主な資金決済手段（続き）	323
26	定期的な支払い（公共料金等）の主な資金決済手段	324
27	平均手持ち現金残高（金額回答世帯）	324
28	借入金の有無	325
29	借入金残高（借入金がある世帯）	325
30	借入金残高（借入金有無回答世帯）	325
31	住宅ローン残高（借入金額回答世帯）	326
32	新規借入額（借入金有無回答世帯）	326
33	年間返済額（借入金有無回答世帯）	326
34	借入の目的（借入金がある世帯）	327
35	家計全体のバランス評価、家計運営の評価	327
36	生活設計策定の有無	328
37	生活設計の策定期間、資金運用計画策定の有無（生活設計を立てている世帯）	328
38	住居の状況	329
39	自家取得予定（非持家世帯）	329
40	住宅取得必要資金（金額回答世帯）	330
41	この1年以内の土地・住宅の取得、増改築、売却の有無	330
42	この1年以内の土地・住宅取得、増改築資金、売却金額（金額回答世帯）	331
43	老後のひと月当たり最低生活費・年金支給時に 最低準備しておく金融資産残高（金額回答世帯）	331
44	老後の生活についての考え方	332
45	老後の生活を心配していない理由（老後を心配していない世帯）	332
46	老後の生活を心配する理由（老後を心配している世帯）	333
47	老後における生活資金源	333
48	老後における生活資金源（世帯主の年令が60歳以上の世帯）	334
49	年金に対する考え方	334
50	年金ではゆとりがないと考える理由（ゆとりがない世帯）	335
51	仕送りの支払い、受取り（金額回答世帯）	335
52	預金保険制度の認知度	336
53	金融資産をより安全にするためにとった行動	336
54	金融機関の選択理由	337

目 次

55 経済的な豊かさ・心の豊かさの実感	337
56 経済的な豊かさを実感する条件	338
57 経済的な豊かさを実感する条件（経済的な豊かさを実感している世帯）	338
58 経済的な豊かさを実感する条件（経済的な豊かさを実感していない世帯）	339
59 心の豊かさを実感する条件	339
60 心の豊かさを実感する条件（心の豊かさを実感している世帯）	340
61 心の豊かさを実感する条件（心の豊かさを実感していない世帯）	340
62 金融に関する知識・情報の入手先	341
63 金融に関する知識・情報の提供主体として望ましく思う先	341
64 金融広報中央委員会の認知度	341
65 世帯主の年令	342
66 世帯主の性別	342
67 世帯主の学歴	342
68 世帯主の就業・就学の有無	343
69 世帯主の就業先産業（就業者）	343
70 年間手取り収入（税引後）	343